

少子化のもとでの学校再編の中長期計画は

少子化対策が先決と考えている



織田 昭雄 議員

質問：町内小学校・保育園の少子化の現状は。

答弁：児童数の減少は平成に入り緩やかになったが、平成27年にはピーク時の3分の1になると推定されます。

質問：小学校再編の中長期的予測は。

答弁：少子化の推移が見極められない現段階では、中長期的な学校再編計画より、少子化対策に全力を尽くします。

質問：高校再編が検討されるなか、富士見高校をどう認識しているか。

答弁：2013年度までに第2期の高校再編計画が提案されるとのことで、それ以上踏み込んだ話がない現段階では、コメントを控えたいと思います。

□その他の質問

*アツモリソウ再生会議の将来的方向について
*新まちづくり特産品開発事業について



明日の町にも子どもたちの歓声が響きわたりますように



エンジェル千代子 議員

今、諏訪南行政事務組合が主体でごみ処理基本計画を策定する必要があるか

富士見町だけではごみを最終処分まで処理できません

質問：計画策定の目的は。

答弁：今までの経過の中で計画を見直し、新たな最終処分場の整備などを目指します。

質問：計画の中で住民との意見交換を担保すべきでは。

答弁：計画の見直しの過程で、審議会や各団体の意見を聞きます。計画の

中に改めて担保すべきとは考えていません。

質問：負担割合の結論のめどは。

答弁：人口割80%ではなく、処理量実績割を80%という提言がありました。現時点では結論のめどは立っていません。

質問：ごみ処理の一元化により、決定権と責任のねじれが生じないか。

答弁：一般廃棄物の処理責任は各市町村が負うべきもので、合意して初めて足並みが揃うものです。ねじれが生じるとは考えていません。

□その他の質問

*観光協会の近隣市町村との連携状況は
*次世代育成支援の調査で見えてきた成果と課題は

8人の議員がただしました